

情報リテラシー教育と評価

学術情報リテラシー教育担当者研修

2014年11月26日(水) NII

帝京大学高等教育開発センター 上岡真紀子

高等教育界の動向

- 2008年 中教審「学士課程の構築に向けて」
（「学士力」答申）
- 「教育の質保証」
 - 学習成果（アウトカム）の重視
 - 学習成果の評価（到達度のアセスメント）の重視
 - 学生主体の学びの重視：アクティブ・ラーニングの導入
- 到達目標を設定して、その達成を目指してカリキュラム・授業を設計し、その成果を検証しながら、教育の質の向上を図る

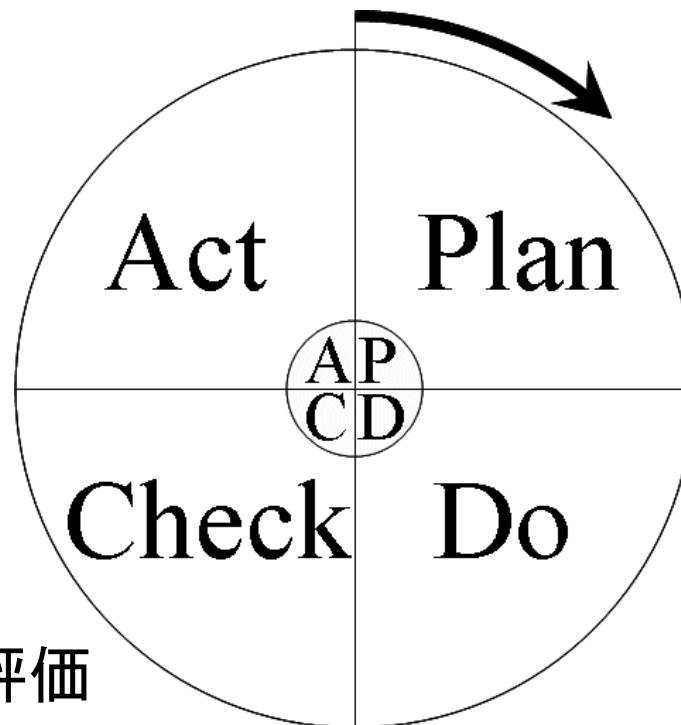
PDCAサイクルを回す

[改善]

ファカルティ・
ディベロップメント

[評価]

学生による授業評価
学習成果のアセスメント



[計画]

授業デザイン
シラバス作成

[実施]

主体的学び
能動的学習＝
アクティブラーニング

図書館が行う教育活動も同じ

図書館が行う教育活動

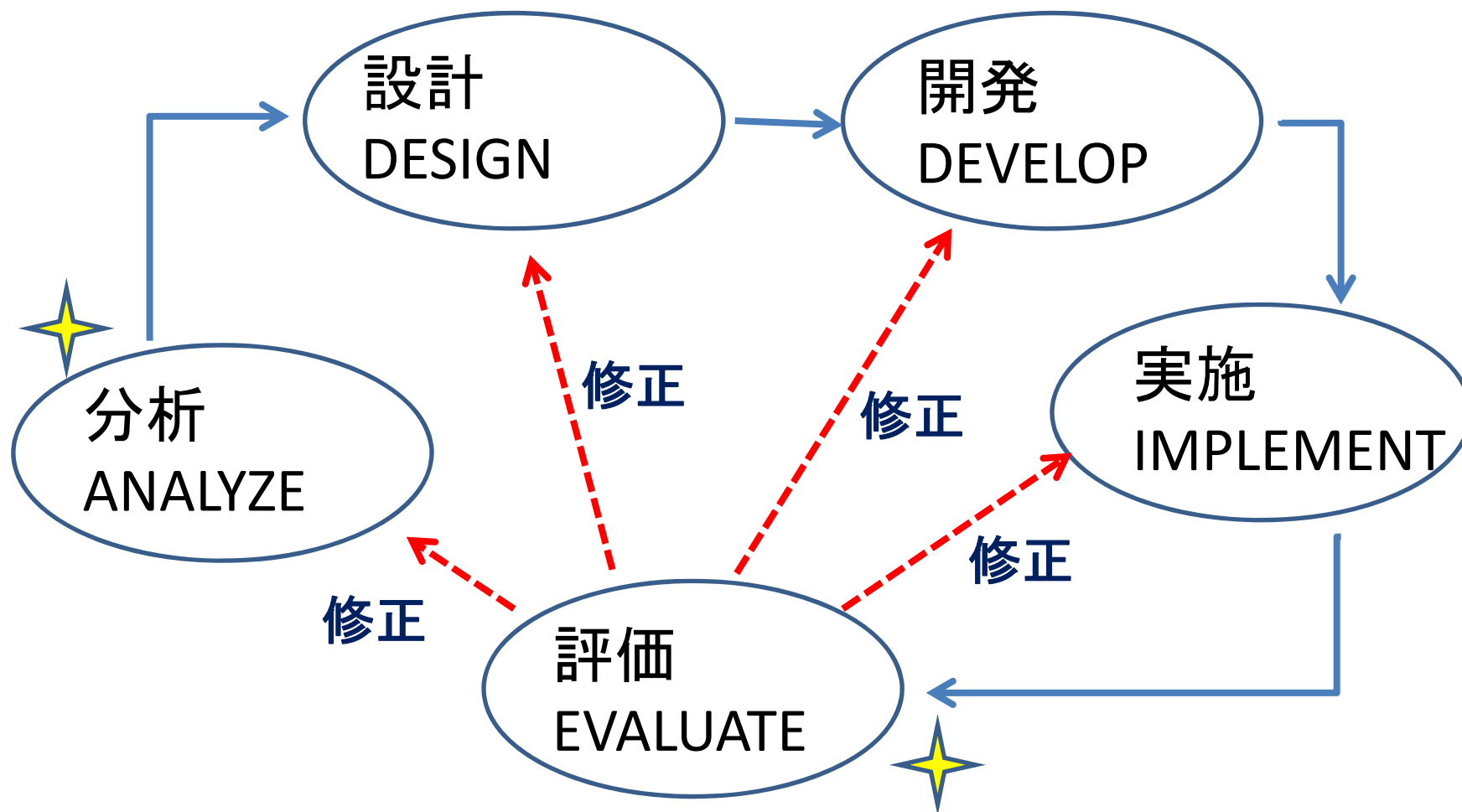
(授業・セミナー・オリエンテーション)も...

- 「何を教えたか」でなく、学生が「何ができるようになったのか」を重視し
- 学生による主体的な学びの経験を取り入れ、
- 「何ができるようになったのか」の成果を測定する

→ **アウトカム・アセスメント・アクティブ・ラーニング**
に注目したデザインへの転換が求められる

- 到達目標を設定して、その達成を目指して授業・セミナーをデザインし、その成果を検証しながら、図書館の教育の質向上を図る

ADDIEモデル



分析フェーズ

利用者調査

- 目的

サービス対象である利用者の行動・考え方・感じ方を知り, その結果をサービスの開発や改善に活かす

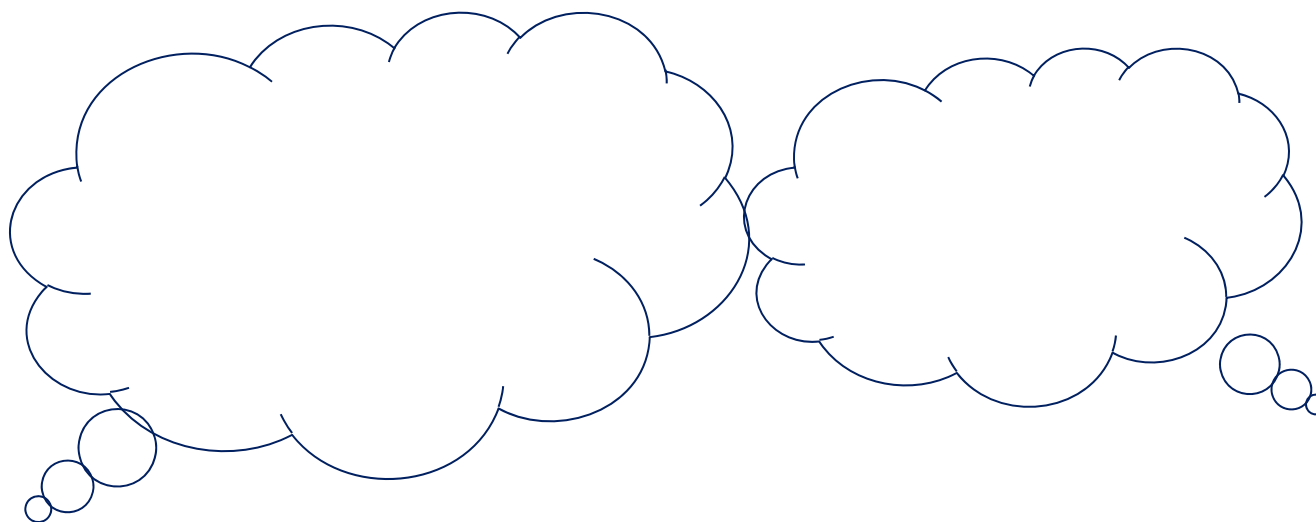


情報リテラシー教育についての 学生の語り①

- 館内ツアー，OPACセミナーって知ってる？

「青いのにいつも貼ってませんか？ やってるんだと思うんですけど，参加はしていません。(なぜ?) ちょっとお堅いっていうか，そこまでしてなのかなっていうふうに思っちゃうし，ツアーだと話が長いだろうなっていう，抵抗感があります。」

「趣旨がよくわかりません。その場でわからなかったら聞けばいいので。」



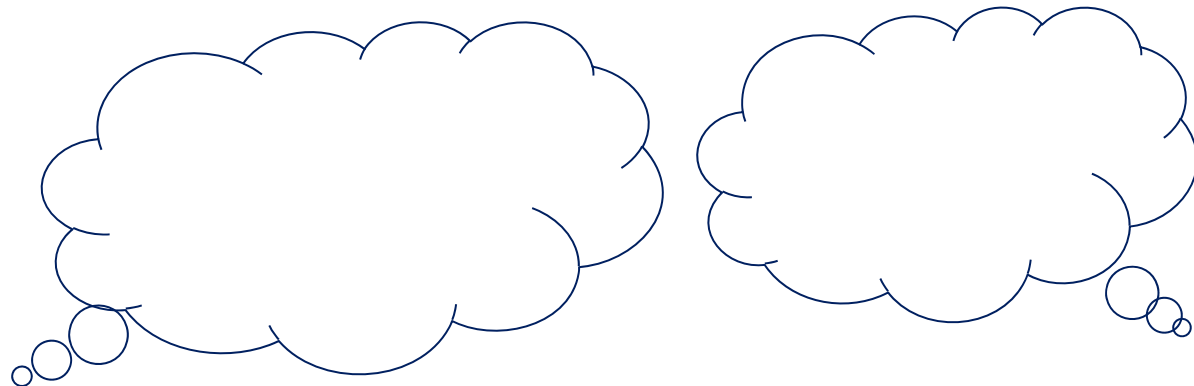
情報リテラシー教育についての 学生の語り②

- 「情報リテラシー入門(90分の講義)」はどうだった？

「正直出てない人の方が多かった。課題だけやって終わらせた人もいるし。私はなんだかよくわからなかったです。(内容が難しかった?)う〜ん, 記憶にないからそこまで印象にないのかな。普通のことを言われた記憶があります。」

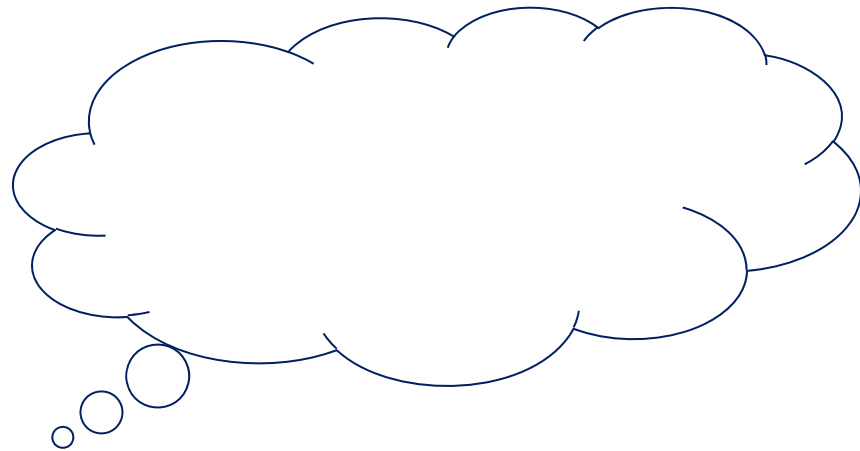
「いきなり検索のコツみたいのがあって, 課題も面倒くさくて, そんなことしなくても別の方法で情報は得られるし, みたいな感じで。入門的なことすぎたのかなと。」

「図書館をより効率よく, 本を検索できるようにということだったら, あれが限界かなと思いますけど。」



情報リテラシー教育についての 学生の語り③

- 「友達には大学に入って初めてレポートを書くという人が多くて、そういう人はレポートの形式に慣れていなくて全然分からないという人が多かったので、...」
- 「レポートは全然書いたことが無いので、相談とかは魅力ですね。」



①への対応 * 方法の改善

(わざわざ時間を割いてこなくても)知りたいときに知ることができるようにする

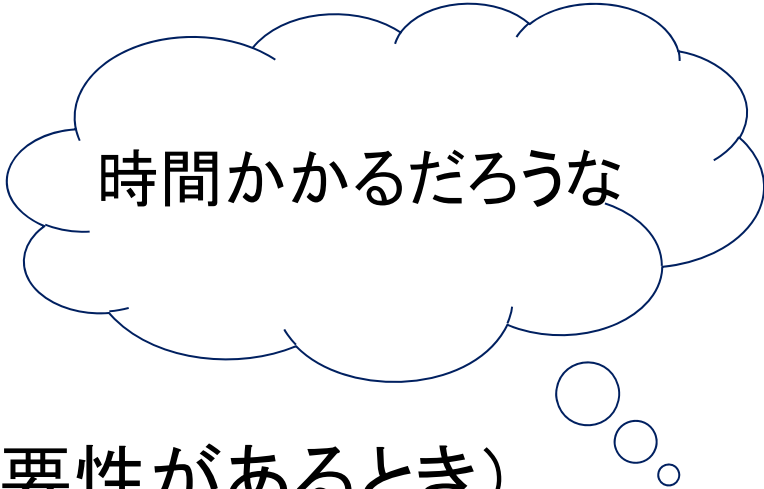
→ ウェブ上にチュートリアルを作成しておく

ex) University of Washington 1”37

<http://guides.lib.washington.edu/content.php?id=55083&sid=1349232>

①②への対応 * 方法の改善

- 学生がすでに知っていることは省く
「キーワードを入れたらエンターキーを
押してください……」



時間かかるだろうな

①②③への対応

- レポート課題が出たとき(=必要性があるとき)
にレポートの書き方の一環として行う

③への対応 * 新たなサービスの企画

- 「スタディ・サポート(学習相談)」サービスの開始
先輩学生による学習相談デスク

<http://www.hc.lib.keio.ac.jp/studyskills/consultation.html>

教養研究センター
日吉メディアセンター
日吉学生部共催

正しい論文の書き方
ってなんだ?

レポートとプレゼンの課題
どう乗り切ればいいんだ?

文献の集め方は?
どこからどこまでが割坊?

…そんな困っているあなたに強い味方が…

学習相談

期間: 2014年10月1日(水)~2015年1月16日(金)
時間: 平日13:00~18:30
場所: 日吉図書館1F.スタディサポート(学習相談)

秋学期シフト表 ※予約不要	月	火	水	木	金
3階 13:00~14:45	大学院生	大学院生	大学院生	法学部4年	経済学部 2年
4階 14:45~16:30	大学院生	商学部4年	文学部4年	法学部4年	経済学部2年 文学部4年
5階 16:30~18:30	大学院生	商学部4年	文学部4年	大学院生	文学部4年

学習相談は、塾生が塾生の学習の相談にのる窓口です。わからないことがあれば、気軽にこちらより下さい!

図書館のオリエンテーション、 DB講座に人が集まらない...

- なぜか？
- どうすればよいか？

単位が学生を動機づける のは事実...

「DB講座」へのニーズは？

– そのDBの利用が必要な課題はどのくらい出されているのか？

→ 課題がなければ使わない

– (本当はそのDBを使った方が良いのだが)そのDBを利用しなくても単位がでるようになっているのではないか？

→ ネットで調べても単位が来るなら使わない

分析フェーズは...

1. 自分たちで行う
2. 他大学の結果を参照する
3. 研究者の研究成果を参照する

設計(デザイン)フェーズ

設計は「到達目標をたてる」ことから始まる

- 到達目標を設定して、その達成を目指して授業・セミナーをデザインし、...
- まずは、適切に目標設定ができるようになることが重要
- 目標に到達するための...
レクチャーの内容・組み立て、アクティビティ・ワークなど、適切な方法を考える
- 目標に到達したかを測るための
適切な評価方法を選択する

設計の手順

1. 到達目標の設定



2. 評価方法の決定 *



3. 実施(教授)方法の検討



教材・評価ツールの作成
(開発フェーズ)



到達目標の設定

- ここでは、特定のニーズ(必要なのに知らない・できない)に対して、
具体的に何ができるようになればよいのか
= **到達目標** を設定する



レポートの書き方を
教えてほしい



STEP2. 課題の細分化

- ここでは、課題をさらに細分化する

レポートを書くために
適した情報を判断できる

【セミナー全体のねらい】

学術情報と一般情報
の存在と違いを説明
できる

レポートでは、情報を
根拠として利用する
ことを知っている

【セミナーの到達目標】

利用可能な情報の
見分け方を知っている

✦ 学ぶ内容のボリュームを調節

- 到達目標を定めることで,
 - 何が必要で, 何が必要でないかが明確になる
 - 必要なことだけを, いかに工夫して教えればよいかを考えられる状態になる

今回は90分！

⇒ 到達目標を絞り込む

最も「ニーズ」に合うものを選ぶ！！！！

✦ STEP3. 教授方法の検討

- ここでは、到達目標をどうやって学んでもらうかを考える

キーワードは

「アクティブラーニング」

- 到達目標を学ぶための **アクティビティ**

評価

- 評価とは、成果（アウトカム）を測定すること
- 成果は、学習者が学習目標に達成したかどうかで判断される

学術情報と一般情報
の存在と違いを説明
できる



課題を分類する

- 知識：知っている○
例) レポートを書くために適した情報源を見分ける方法を知っている
- 技能：(やろうと思えば) できる○
例) レポートを書く際に図書館のデータベースを利用できる

態度：実際に使う△

例) レポートを書く際に、図書館のデータベースを使う

評価側面と評価方法

	興味・ 関心	知識・ 理解	思考力・ 論理力	態度	技能
標準テスト		◎	○	○	
教師作成テスト		◎	○	○	
質問紙法	◎			○	
観察記録法	◎	○	○	○	◎
レポート法	○	○	◎	◎	○

パフォーマンス評価 ⇒ ルーブリック



開発フェーズへ...

- コースワークのためのワークシートの作成...
- パワーポイントの作成...
- 評価のためのアンケートやテスト、ルーブリックなどの作成...

ルーズブリックの例(レポート)

レポートに適した文章表記	段落の字下げができていない	段落の字下げができていない	—	—	課題1に対応
根拠に基づいた主張	口語表現や誤用などが多く、文語表現が全く意識されていない	口語表現をなくし、文語表現で書こうとしているが、不自然な文語表現や誤った表現が目立つ	ところどころに不自然な文語表現や誤った表現がみられるが、概ね適切な文語表現で書かれている	口語表現や誤用は見られず、適切で正しい文語表現で書かれている	課題2に対応
引用箇所の明示・引用文献リストの記述	文中に引用箇所が明示されておらず、引用文献リストも付されていない	いくつかの主張に対して根拠を示そうとしているが、根拠が示されていないものや、根拠として妥当でないものが含まれている	どの主張に対しても根拠が示されているが、妥当でないものが含まれている	どの主張にも妥当な根拠が示されている	課題3に対応
引用箇所の明示・引用文献リストの記述	文中に引用箇所が明示されておらず、引用文献リストも付されていない	引用の仕方、引用箇所の明示、引用文献リストのいずれにも誤りや不備が多い	引用の仕方には誤りがないが、引用箇所の表示の誤りや引用文献リストの記述に不備があり十分でない	引用箇所を明示して適切に引用が行われ、引用文献リストも正しく適切に記述されている	課題4に対応
全体構成	一つのパラグラフに複数の話題が混在し、内容も全く整理されて	パラグラフは形成されているものの内容は十分に整理されておらず、中心	パラグラフが形成され、中心文らしきものがあるが、内容の整理は十分ではない	パラグラフが形成され、中心文が明確に書かれ内	目標規定がなく、構成も一貫していない

上岡が担当する「ライフデザイン演習」および「基礎演習」用に作成したもの

目標規定がなく、構成も一貫していない

目標規定は十分・不明瞭で、構成も説得力に欠ける

目標規定はあるが、構成は説得力に欠ける

目標規定は十分・不明瞭で、構成も説得力に欠ける

目標規定は十分・不明瞭で、構成も説得力に欠ける

評価フェーズ

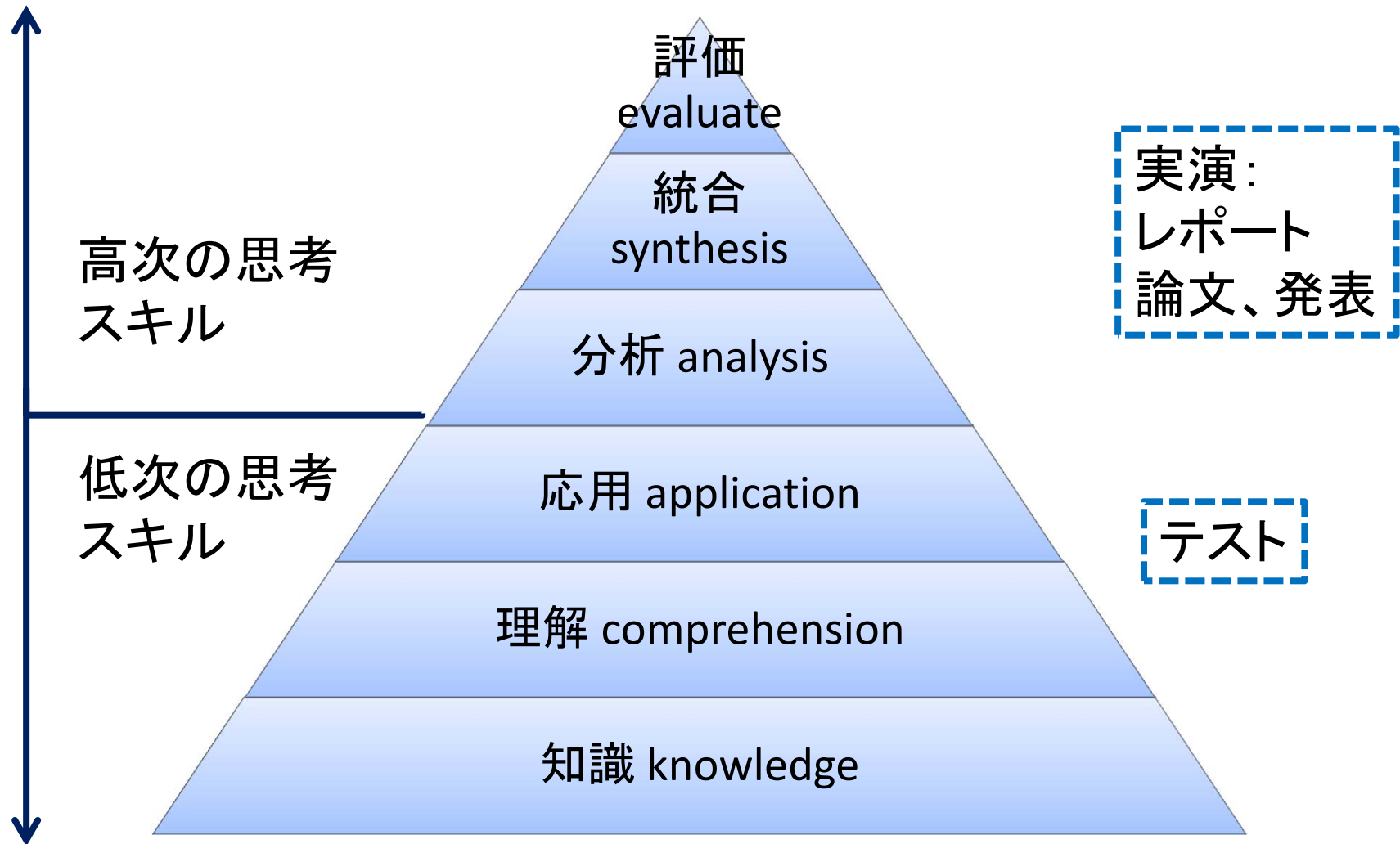
情報リテラシー教育

1. 図書館で使えるいろいろなデータベースを知っている
2. 図書館のデータベースを使って図書や雑誌記事などを検索することができる
3. 図書館の利用方法を知っている
4. 図書館をうまく使えるようになる
5. 図書や雑誌記事などを使ってレポートを書くことができる
6. 情報源を評価したり、情報を批判的に評価することができる
7. 情報を使って意思決定や問題解決をすることができる
8. 社会に出た後も学び続けることができる

情報リテラシー

- 情報リテラシーを身に付けた人は、**情報が必要**なときを認識し、**必要な情報を見つけ、評価し、効果的に利用できる**人である...究極には彼らは**学び方を知る人**である。彼らは知識がどのように組織化されるかを知っており、情報を見つけ、それらを他者が学べるように使う方法を知っている。彼らは**生涯学習のための準備ができた人**である。彼らは**仕事や意思決定のために必要な情報を探ることができる**。

教育目標の分類(タキソノミー)



図書館員の関わり方

- ワンショット型

第1回

第4回

第15回



- コラボレーション型

授業の
目標設定

実施

学習成果
の評価



課題

- ワンショット型
 - 情報リテラシーを身に付けられるかは疑問せめて、図書館やDBを使う課題が出ているときに行いたい。そうでなければ、科目や授業の到達目標に寄り添ったものにする。(ただし、限界がある)
- コラボレーション型
 - コレボレーションするためには、図書館員にも授業のデザインやアクティブラーニング、成果の評価に関する知識とスキルが必要
- いずれにしても、教員による Buy In に依存していることが課題

学習成果の評価 vs 教育活動の評価

「良かったか？」



利用者に聞く



満足度調査



利用者に聞く



自己評価

アウトカム

「できるようになったか？」



利用者に
やってもらう



パフォーマンス
評価



学習成果の評価のために

- 学習理論、教授方法、授業デザイン、評価方法への理解を深めましょう！

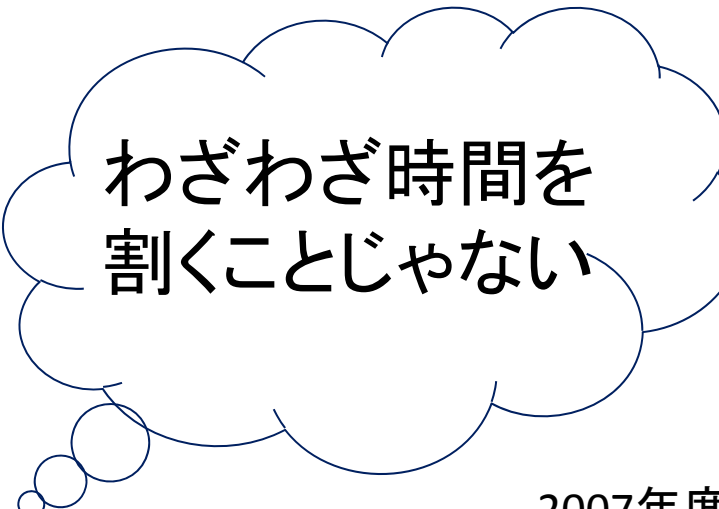
ありがとうございました

情報リテラシー教育についての 学生の語り①

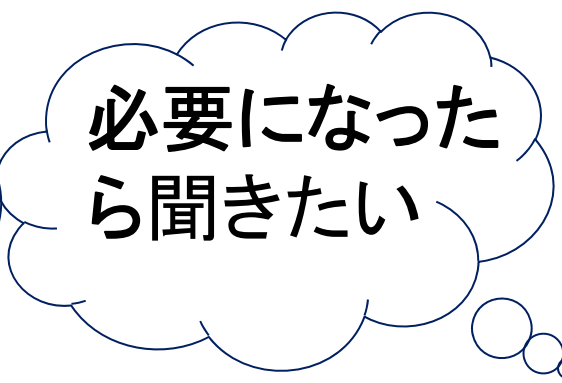
- 館内ツアー，OPACセミナーって知ってる？

「青いのにいつも貼ってませんか？ やってるんだと思うんですけど，参加はしていません。(なぜ?) ちょっとお堅いっていうか，**そこまでしてなのかな**っていうふうに思っちゃうし，ツアーだと**話が長い**だろうなっていう，抵抗感があります。」

「趣旨がよくわかりません。その場で**わからなかったら聞けばいい**ので。」



わざわざ時間を
割くことじゃない



必要になったら
聞きたい

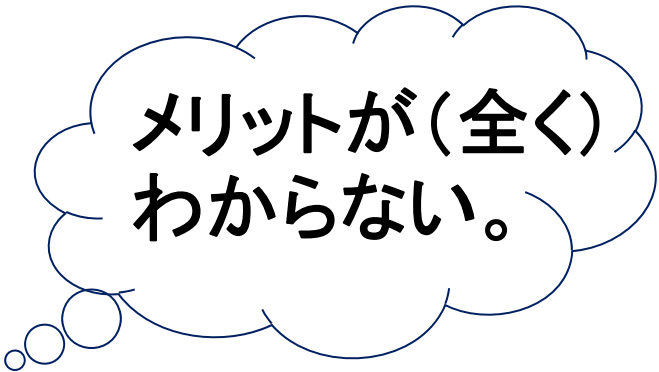
情報リテラシー教育についての 学生の語り②

- 「情報リテラシー入門(90分の講義)」はどうだった？

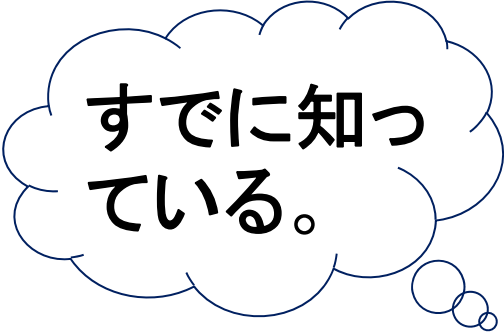
「正直出てない人の方が多かった。課題だけやって終わらせた人もいるし。私は**なんだかよくわからなかった**です。(内容が難しかった?)う〜ん、記憶にないからそこまで印象にないのかな。**普通のことを言われた**記憶があります。」

「いきなり検索のコツみたいのがあって、課題も面倒くさくて、**そんなことしなくても別の方法で情報は得られるし**、みたいな感じで。**入門的なことすぎたのかなと**。」

「**図書館をより効率よく、本を検索できるように**ということだったら、**あれが限界**かなと思いますけど。」



メリットが(全く)
わからない。



すでに知っ
ている。

情報リテラシー教育についての 学生の語り③

- 「友達には大学に入って初めてレポートを書くという人が多くて、そういう人はレポートの形式に慣れていなくて全然分からないという人が多かったので、...」
- 「レポートは全然書いたことが無いので、相談とかは魅力ですね。」

必要



レポートの書き方を
教えてほしい

知らない
できない